

ムギ類赤かび病情報第1号

平成26年4月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ムギ類の赤かび病は、出穂期から乳熟期にかけて気温が高く、降雨日数が多いと発生量が多くなる傾向があります。多発すると収量や品質が低下するだけでなく、かび毒による汚染が生じるおそれがあります。

「麦作管理支援情報第3号」（平成26年3月31日、企画普及部広域指導室発表）によると、コムギの出穂期（※）は、きぬあかり、農林61号は1～3日遅く、イワイノダイチは1～4日遅いとされています。また、名古屋地方气象台4月3日発表の1か月予報によると、4月の気温及び降水量は、平年並の確率が40%と予想されています。

赤かび病の感染予防のための防除適期は、開花始期から開花期までです。出穂時期や開花時期は、生育状況や天候により変動しますので、ほ場での生育をよく観察し、降雨を考慮して適期に防除ができるよう努めましょう。なお、排水不良のほ場では赤かび病の発生が助長されるので、排水溝の手入れなどを早急に実施しましょう。

ムギ類赤かび病のおもな防除薬剤


作物名	薬剤名
麦類	石灰硫黄合剤
大麦	チルト乳剤25
大麦	シルバキュアフロアブル
小麦	バルコート水和剤
小麦	ベフラン液剤25
小麦	ストロビーフロアブル
小麦	トップジンM水和剤
小麦	シルバキュアフロアブル
小麦	チルト乳剤25

(無人ヘリコプター用)	
大麦	チルト乳剤25
大麦	シルバキュアフロアブル
小麦	トップジンMゾル
小麦	シルバキュアフロアブル
小麦	チルト乳剤25

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。



図 コムギの出穂

- ※ 出穂とは・・・図  より上に小穂が出た時
出穂期とは・・・全茎の40～50%が出穂した日
開花期とは・・・1穂につき数花開花しているものが、全穂数の40～50%に達した日